

# 京大総合博物館から法然院の森

活動報告 担当 2班

京大総合博物館は自然史・文化史・技術史の日本最大級のもので、過去100年間の収集・研究されてきた学術標本資料・教育資料と「知の集積地」としての役割を担っています。京大の学食後、吉田神社へ。吉田神社は、齋場所大元宮全国(3132座)の式内陣を祀り、ここにお参りすれば、全国の神社を参拝したのと同じ後利益があるとされます。節分祭も全国的に有名な行事です。

法然院は大文字山の麓に位置していて鎌倉時代初期に創建され茅葺きの山門、白砂壇、善気水、などが有名。又谷崎潤一郎が、晩年を過ごしたお墓があり、他にも多くの著名人が眠ることで知られている。法然院森の市民活動グループの方からスライドを使って法然院の環境の歴史等の講話をお聴きしました。

【実施日】 2026年1月23日

【参加人数】 65名

【集合場所】 出町柳駅

【お天気】 晴れ時々曇り

【行程】 出町柳駅9時45分 → 京大総合博物館 → 学食(班長会議) → 吉田神社(集合写真) → 法然院の森(集合写真) → 法然院の森の講話 → お庭散策 → 法然院の森 解散(14時50分)



甲冑



ニホンカモシカ



吉田神社



法然院の山門



白砂壇



花手水



講話

## 【所感】

- ① 京大総合博物館では普段見ることの出来ない鉱石・隕石・昆虫・動物等沢山の展示物が見られました。
- ② 文化人梶田貫主の法然は、今までにない仏教世界を、白砂壇やガラスの枯山水を通して感じさせて頂きました。今度は1人でじっくり貫主の法話を聞いてみたいと思いました。
- ③ 寒い京都を思って、防寒着バッチリで出かけましたが、風がなく気持ち良く歩けました。法然院の講話?は疲れも出ていて声も気持ち良く眠りの世界にいざなわれました。ちょっと長過ぎたかなと思います。